

ぼうさい通信 Vo.89



令和7年7月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ「夏場の災害について」

梅雨も明け、夏場の海水浴や山への登山など、一気に人の行動範囲が広まります。その一方で、災害は、いつ起こるとも限りません。災害といっても、一般的には地震や台風を思い出すかもしれません。最近では、トカラ列島近海で6月21日以降、震度1以上の地震が千回以上観測されています。7月3日16時13分には悪石島で震度6弱の地震もあったばかりです。

また、5年前の話となりますが、令和2年には7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨もあり、熊本県の人吉市を中心とした、令和2年7月豪雨もありました。ただ、今年度、福岡管区気象台は6月27日、熊本県を含む九州北部地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。平年より22日早く、去年より20日早い梅雨明けで、6月は史上初となりました。



令和2年7月豪雨（人吉市）の写真

梅雨も明け、雨に関する災害に気持ちが薄れがちとなります。夏場は、暑さによる天候の急な変動や体調不良は見逃せません。この時期は、夕立等の短時間集中豪雨も忘れてはなりません。また、大規模災害ではないですが、先月のぼうさい通信 Vo.88にも記載した落雷や、食中毒、熱中症など大きくなくとも身近な災害と言えます。

今回は、特に夏に必要な防災グッズについて、熱中症のリスクが高い夏の災害に備えるためにも、以下に記載します。

- ・保冷剤
- ・冷却タオル
- ・塩タブレット
- ・経口補水液
- ・クーラーボックス
- ・乾電池式のハンディファン
- ・ポリタンクと水
- ・ポータブル電源（冷凍庫）等



お風呂や洗い物など生活用として水は必要です。貴重な飲み水を生活用水に回すことのないように、生活用水として使える水を多めに備えておく必要があります。夏場の停電時にはポータブル電源とポータブル冷蔵庫があれば、氷を作ることも可能です。作った氷をクーラーボックスに入れることで、食物や飲み水を冷やしたり、保冷剤を作ったりもできます。

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン（デジタル版 マイタイムライン）は、
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/> で作成可能です。